学校番号	3019

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　文学国語（大修館書店）						
副教材等	基本級別漢字						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文学国語では、主に近代以降の様々な文章を教材として扱います。授業では、「言語」「情報」「自然」「文学」など幅広いテーマを学習します。社会で活躍するには、読解力をはじめとして様々な知識が必要です。そのため、文学国語では文章を正確に理解する能力を高めるとともに、論理的な思考力、豊かな想像力を身に付けることを目標とします。そのうえで、正確に書く能力をしっかりと身に付けることをめざします。漢字の書き取り・読み取りを継続的におこなうとともに、言語感覚を磨き、語彙力を養成しましょう。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識および技能】言葉にある想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえる。

【学びに向かう力、人間性等】筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。 ［教材］ 「少なくとも最後まで歩かなかった」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	筆者のいう「外側」と「内側」を理解し、外側と内側の関係について考える。 ［教材］ 「そとみとなかみ」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」 において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	・写真やイラストに合ったおもしろい言葉を考える。 ［教材］ 『［書く］言葉でスケッチ ①一言で心をつかもう』	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	スピーチ	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)
	ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにする。 ［教材］ 『［書く］言葉でスケッチ ②魅力を言葉で表そう』	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]：「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	スピーチ	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)	スピーチ 行動の観察 (ノート・発表など)
	場面の設定のしかたをとおして登場人物の心情を考える。 ［教材］ 「ナイン」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。 ［教材］ 「晴れた空の下で」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)

2学期	話のおもしろさをとらえる。 ［教材］ 「星取り」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	話のおもしろさと教訓をとらえる。 ［教材］ 「児の飴食ひたること」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	詩に表された作者の心情を読み味わう。 ［教材］ 「小景異情」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 c：詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	詩に表された作者の心情を読み味わう。 ［教材］ 「永訣の朝」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 c：詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	詩のさまざまな表現と、その効果について考える。 ［教材］ 「コスモス」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 c：詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 ［教材］ 「山月記」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 c：作品に興味をもち、小説の文体や登場人物の心情について理解を深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)
3学期	かぐや姫の心情とその変化を読み取る。 ［教材］ 「かぐや姫の昇天」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品に興味をもち、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 行動の観察 (ノート・発表など)	行動の観察 (ノート・発表など)

	登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ［教材］ 「神去なあなあ日常」	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c:作品に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。	行動の観察(グループ活動)	行動の観察(グループ活動)	行動の観察(グループ活動)
	不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く。 ［教材］ 『［書く］思いを言葉に ①エッセイを書こう』	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c:読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	手紙の作成	手紙の作成 行動の観察(ノート・発表など)	手紙の作成 行動の観察(ノート・発表など)
	・特定の読み手を想定し、手紙の形式で言葉を贈る。 ［教材］ 『［書く］思いを言葉に ②手紙を書こう』	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[書]:「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c:読み手を想定して、相手に応じた内容や構成、表現を工夫しながら書こうとしている。	手紙の作成	手紙の作成 行動の観察(ノート・発表など)	手紙の作成 行動の観察(ノート・発表など)

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０）時間

・読むこと　…　（　５０）時間